



憲法を生かす会・茨木

連絡先 567-0849 茨木市平田台 5-6-401

第1号
2005年12月

山下けいき メール keiki@crocus.ocn.ne.jp
TEL0726-35-6680 Fax35-5184

憲法の目的は国民の多数派に歯止めをかけて 少数派の人権を保障すること

HP マガジン9条「伊藤真のけんぼう手習い塾」より

先日、中学の公民の教科書を見る機会がありました。そこには憲法は最高法規だと書いてありました。その通りなのですが、この言葉がやたらと強調されている点がすごく気になりました。ヘタをすると、中学生は「憲法は私たち国民が守らなければならない最高の法律だ」と勘違いしてしまわないだろうか。「民法、刑法、商法などの多くの法律の親分だ」くらいに思ってしまうだろうか、とても心配になりました。かつての自分がそうであったように。

憲法は国民が守るべき法ではありません。国民が国家に守らせるべき法です。国家が国民の人権を不当に侵害してトンデモナイことをやらかさないように、予め歯止めをかけておくのです。

つまり、憲法は国家権力に歯止めをかけて、個人の人権を保障するものです。そして、ここでいう国家権力は、民主主義の国であれば、国民の多数派によって創り出されたものです。したがって、国民の多数派に歯止めをかけて、少数派の人権を保障することが憲法の目的だということになります。

(伊藤真 1958年生まれ。81年東京大学在学中に司法試験合格。95年「伊藤真の司法試験塾」を開設。現在は塾長として、受験指導を幅広く展開するほか、各地の自治体・企業・市民団体などの研修・講演に奔走している。近著に『高校生からわかる日本国憲法の論点』(トランスビュー)。法学館憲法研究所所長。)



辻元清美 時代を語る (仮題)

- ◆4月1日(土) 午後2時ぐらいから
内容は今から実行委員会で相談していきます。
- ◆茨木市福祉文化会館 5階文化ホール

- ◆実行委員会はどこでも参加できます。あなたもぜひご参加ください。
- ◆次回の実行委員会は1月11日(水) 午後7時～ 茨木市福祉文化会館 401号室



軍隊を持つことで より安全になるというのなら、 具体的な数字で示して欲しい

香山リカさん かやま・りか

精神科医、帝塚山学院大学人間文化学部教授。1960年北海道生まれ。東京医科大学卒。主著に『若者の法則』（岩波新書）、『ふちナショナリズム症候群』（中央公論新社）など多数

私は単純に、軍隊を持つことが即、防衛につながるのか、という素朴な疑問があります。

まず、日本は戦後60年間、他の国から侵略されていないという事実があります。それが自衛隊の存在によってなのか、それとも外交的な努力なのか、あるいは、これは非常に楽天的な予測ですが、もしかしたら憲法9条がある国だからなのか、正確な答えを出すのはむずかしいでしょう。

ですが、これまで侵略されていない理由を正確に把握せずに「軍隊さえ持てば、日本は今よりも安全になる」と結論づけるのには疑問を感じます。

現在の日本は、少なくとも“他国やテロ集団に攻撃される可能性が極めて高く、早く軍隊を作らなければ大変なことになる”というような状況ではありません。

そもそも今、日本をどうしても侵略したいと思っている国などあるのでしょうか。海外でテロが起こるたびに、地下鉄のゴミ箱が撤去されたりしますが、私には、日本が思っているほどには、どこかの国やテロ集団が日本を本気で攻撃しようとしているとは思えないのです。

もちろん、仮に日本が攻められたとして、ずっと攻撃され続けて被害が拡大してもいいとは思いません。しかし、逆にアメリカの圧力で軍隊を持ち、日米同盟がより強化されることで「そうか、日本もやる気なんだな」「またアメリカの言いなりになったな」とテロの標的になるという可能性も、ないとは言えないのではないのでしょうか。

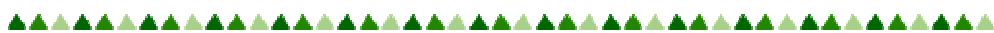
軍隊を持つことで安全が高まるというのなら、これだけ高まるという具体的な数字を提示してほしいのです。それなしに、軍隊さえ強化すれば安全だ、というのは、いまひとつ理解できません。

かといって、それでは自衛隊を解散しさえすれば、日本は世界から「そうか、そこまで戦争がいやなのか」とあたたかく見守ってくれるとも思いません。

しかし、自衛隊が今あれだけの規模で存在していることが、果たしてどこか日本を侵略しようともくろんでいる国（本気でそう思っている国があるかどうかわかりませんが）に対して、完全な抑止力となっているのでしょうか。

それを正確に検証することは非常に難しいと思いますが、ではせめて、現在の世界情勢の中で「〇〇国はこれだけの軍備をしていたから、△△国からの侵略を未然に防ぐことができた」とか、「□□国は××国を侵略しようと思っていたが、これだけの軍備をしていて強そうだったのでやめた」といった例をいろいろと示してもらいたいと思います。

私は理念ではなく合理的な理由で、軍隊を持つことの有効性に疑問を持っています。「軍隊を持てばこういう勘定になって、これだけお得ですよ」と具体的に提示されない限り、自衛隊を自衛軍と認知して明文化することが日本を100%安全にするとは思えないのです。（HPマガジン9条より引用）



いのちを育むには あらゆる差別をなくすとくみを
薬害エイズ・BSE・アスベスト、原因は同じ

「ジェンダーフリー茨木」講演会

講師 川田悦子さん

後援 茨木市

2006年1月14日(土)午後2時～4時

男女共生センター ローズワム 501・502